

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 26-031	
研究課題名	話す、気づく、つなげるー救急医からみたオーバードーズ予防における薬剤師の役割ー
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	救命センターに搬送された薬物中毒の実態を明らかにし、救急医療における薬物中毒の課題を検討するために情報を利用する。診療録を用いた、後方視的観察研究として実施。情報は個人を特定できない形に情報加工した上で集積と解析を行い、学術集会で公表する。
利用または提供する情報の項目	個人情報を含まない診療記録
対象者及び対象期間	2021 年 1 月～2026 年 3 月に、薬物中毒にて当院救命センターに搬送された患者さん
利用の範囲	新潟市民病院救急科 新潟大学医学教育センター
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院救急科 熊谷 謙 新潟大学医学教育センター 吉田 暁
問い合わせ先	新潟市民病院救急科 熊谷 謙 連絡先:025-281-5151(代表)
研究代表機関	新潟市民病院救急科
備考	